

2017年11月27日

アジア開発銀行が初めて発行するジェンダー・ボンドへの投資について ～アジア太平洋地域の女性活躍推進に向けた取組支援～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、アジア開発銀行(本部:フィリピン・マニラ、総裁:中尾 武彦、以下「ADB」)が発行する「ジェンダー・ボンド(Gender Bond)」への投資を実施しました。

本債券は、ADBの重点取組分野である「ジェンダーの平等」への取組において初めて発行されるものであり、当社は、今般発行される本債券の全額(約100億円)を購入しました。

ADBは1998年に「Policy on Gender and Development」を採択して以来、貧困撲滅のため女性の活躍推進を重視しており、2008年に策定した長期戦略「Strategy2020」においても「ジェンダーの平等」を5つの重点取組分野の一つとして掲げています。さらに、次期長期戦略となる「Strategy2030」においても、ジェンダーの平等は引き続き重要な項目となる予定です。

本債券によって調達された資金は、ADBによるアジア太平洋地域の女性活躍推進プロジェクトに充てられます。例えば、バングラデシュにおけるプロジェクト「Second Small and Medium-Sized Enterprise Development Project」は、女性起業家に対して資金供給を行なうほか、金融機関や創業支援施設へのアクセスを提供することで、女性起業家を支援するプロジェクトです。当社は、本債券への投資を通じて安定収益を確保するとともに、アジア太平洋地域における女性の活躍推進に向けたADBの取組を資金面からサポートし、その進捗状況等を継続的にフォローしていきます。

当社は、引き続き運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資¹の積極的な拡大に取り組んでいきます。

¹ E・S・Gとは、それぞれ Environmental, Social, Governance の頭文字です。当社では、安全性・収益性の視点に加え、社会性・公共性(環境保護や社会貢献、ダイバーシティへの取組、コーポレートガバナンス等)の視点も盛り込んだ ESG 投資に取り組んでいます。

アジア開発銀行の財務局長、ピエール・ヴァン・ペテゲム氏は次のように述べています。



「ジェンダーの平等と女性の活躍推進はそれ自体非常に重要な権利であるだけでなく、アジアが包括的な発展を遂げるうえで不可欠なものです。本債券の発行を通じて、我々はジェンダー問題を資金調達業務に融合できることを実証しています。アジア太平洋地域で持続可能かつ包括的な経済成長を推進するという我々の使命において、ジェンダーの平等を我々の業務に組み込むことは極めて重要なことです。」



写真提供：アジア開発銀行

《ご参考》

＜本債券の概要＞

発行体	アジア開発銀行 (S&P 格付: AAA、Moody's 格付: Aaa)
発行額	130 百万ニュージーランド・ドル (約 100 億円)
償還期間	10 年
引受主幹事	クレディ・アグリコル CIB

＜発行会社概要＞

会社名	アジア開発銀行 (The Asian Development Bank)
URL	www.adb.org
会社概要	アジア開発銀行は、フィリピンのマニラに本部を置き、インクルーシブな経済成長、環境的に持続可能な成長そして地域統合を通じて、アジア太平洋地域の貧困問題を解消することを使命としています。1966年に設立され、加盟国は現在 67ヶ国(うちアジア太平洋地域からは 48ヶ国)にのぼります。詳細はホームページを参照願います。